



自立し、互に関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

# Eジャーナルしずおか

静岡県教育委員会  
教育広報紙

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui\_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

平成25年(2013年)  
4月23日  
火曜日  
第111号

## 教職員用指導資料 「命を守る力を育てる」刊行

### 忍び寄る危険の中で

近年、県内では不審者による子どもたちへの声掛け事案が年間1,000件を超え、交通事故による死傷者数も4,000人前後を推移しています。

また、静岡県は大規模な地震による災害も予想されており、子どもたちの安全の確保に努めることは、学校の最大の責務であります。そのため、県教育委員会では、教職員用指導資料「命を守る力を育てる」を作成しました。

### 「自分の命は自分で守る」力の育成

学校安全は、組織的な安全教育と安全管理によって効果的に進めなければなりません。

本県では、これまでも安全管理を中心とした学校安全を推進してきましたが、東日本大震災の教訓から、安全管理とともに、子どもたちが事件・事故・災害に対して、自ら危険を予測し回避する力を育成する安全教育の推進が一層重要であると認識したところ です。

### 学校教育活動全体を通じた系統的かつ横断的な安全教育

この資料は、安全教育を「生活安全」、「交通安全」、「災害安全」の3つの視点から捉え、小学生・中学生・高校生の発達段階に応じた系統的かつ横断的な指導が学校教育活動全体を通じて行えるように、学習指導要領の各教科等の中に記述されている「安全」に関する内容を整理したものです。

### 効果的な安全教育の実践

教職員が授業等の場面においてこの資料を活用し、事件・事故・災害によって、子どもたちの尊い命が失われないための、より効果的な安全教育が実践されることを願います。



安全教育のツールとして活用を

【学校教育課健康・安全班】

起源は「サン・ジョルディの日」  
親しい人と心を込めてバラの花などを贈り合う、

子ども読書の日は「子ども読書の日」。そしてこの日から5月12日までが「子どもの読書週間」です。これを機会に、学校で、御家庭で、子どもたちと一緒に本を手にとってみませんか？

日本では法律に明記  
この伝統から、1995年にユネスコが毎年4月23日を「世界図書・著作権の日」と定め、日本でも2001年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」によって「子ども読書の日」と決められました。法律では、「国及び地方公共団体は、子ども読書の日の趣旨に

ふさわしい事業を実施するよう努めなければならない」とされています。お近くの図書館では、様々なイベントが

「子ども読書の日」(子ども読書の週間)は、活動が少しずつ増えてきているという段階です。年度始めに設定されているこの読書の日と読書週間をきっかけに、学校に

多くの図書館では、この日の前後に、工夫を凝らした展示やお話会など、子どもたちの数々のイベントが行われます。是非お問い合わせの上、お近くの図書館に出かけてみてください。また、文部科学省ではこの日にあわせて、子どもの読書活動の推進に功績のあった学校や団体を文部科学大臣が表彰しています。

「子ども読書の日」(子ども読書の週間)は、活動が少しずつ増えてきているという段階です。年度始めに設定されているこの読書の日と読書週間をきっかけに、学校に

「子ども読書の日」(子ども読書の週間)は、活動が少しずつ増えてきているという段階です。年度始めに設定されているこの読書の日と読書週間をきっかけに、学校に

「子ども読書の日」(子ども読書の週間)は、活動が少しずつ増えてきているという段階です。年度始めに設定されているこの読書の日と読書週間をきっかけに、学校に

「子ども読書の日」(子ども読書の週間)は、活動が少しずつ増えてきているという段階です。年度始めに設定されているこの読書の日と読書週間をきっかけに、学校に

「子ども読書の日」(子ども読書の週間)は、活動が少しずつ増えてきているという段階です。年度始めに設定されているこの読書の日と読書週間をきっかけに、学校に

「子ども読書の日」(子ども読書の週間)は、活動が少しずつ増えてきているという段階です。年度始めに設定されているこの読書の日と読書週間をきっかけに、学校に

「子ども読書の日」(子ども読書の週間)は、活動が少しずつ増えてきているという段階です。年度始めに設定されているこの読書の日と読書週間をきっかけに、学校に

「子ども読書の日」(子ども読書の週間)は、活動が少しずつ増えてきているという段階です。年度始めに設定されているこの読書の日と読書週間をきっかけに、学校に

「子ども読書の日」(子ども読書の週間)は、活動が少しずつ増えてきているという段階です。年度始めに設定されているこの読書の日と読書週間をきっかけに、学校に

「子ども読書の日」(子ども読書の週間)は、活動が少しずつ増えてきているという段階です。年度始めに設定されているこの読書の日と読書週間をきっかけに、学校に

「子ども読書の日」(子ども読書の週間)は、活動が少しずつ増えてきているという段階です。年度始めに設定されているこの読書の日と読書週間をきっかけに、学校に

「子ども読書の日」(子ども読書の週間)は、活動が少しずつ増えてきているという段階です。年度始めに設定されているこの読書の日と読書週間をきっかけに、学校に

「子ども読書の日」(子ども読書の週間)は、活動が少しずつ増えてきているという段階です。年度始めに設定されているこの読書の日と読書週間をきっかけに、学校に

「子ども読書の日」(子ども読書の週間)は、活動が少しずつ増えてきているという段階です。年度始めに設定されているこの読書の日と読書週間をきっかけに、学校に



出張おはなし会の様子(菊川市立図書館菊川文庫)

そんな素敵な風習がスベイン、カタルーニャ地方にあります。これが4月23日、「サン・ジョルディの日」です。そしてこの日が「ドン・キホーテ」の作者、セルバンテイスの命日に当たることなどから、花とともに本を贈る風習が始まったと言われています。

「子ども読書の日」(子ども読書の週間)は、活動が少しずつ増えてきているという段階です。年度始めに設定されているこの読書の日と読書週間をきっかけに、学校に

「子ども読書の日」(子ども読書の週間)は、活動が少しずつ増えてきているという段階です。年度始めに設定されているこの読書の日と読書週間をきっかけに、学校に



子ども読書の日の展示(H24.富士市立西図書館)

## 子ども読書の日を 読書のきっかけに!

「子ども読書の日」(子ども読書の週間)は、活動が少しずつ増えてきているという段階です。年度始めに設定されているこの読書の日と読書週間をきっかけに、学校に

「子ども読書の日」(子ども読書の週間)は、活動が少しずつ増えてきているという段階です。年度始めに設定されているこの読書の日と読書週間をきっかけに、学校に

「子ども読書の日」(子ども読書の週間)は、活動が少しずつ増えてきているという段階です。年度始めに設定されているこの読書の日と読書週間をきっかけに、学校に

この間、静岡県では日常の様々な交流により「共生・共育」を推進してきました。

高等学校に設置した分校名	設置(移転)年度	設置(移転)場所
東部特別支援学校伊豆高原分校	平成18年度	伊東高等学校城ヶ崎分校
静岡北特別支援学校南の丘分校	平成16(25)年度	静岡南(駿河総合)高等学校
袋井特別支援学校御前崎分校	平成18年度	池新田高等学校
沼津特別支援学校伊豆田方分校	平成21年度	田方農業高等学校
袋井特別支援学校磐田見付分校	平成22年度	磐田北高等学校
東部特別支援学校伊豆松崎分校	平成23年度	松崎高等学校
富士特別支援学校富士宮分校	平成23年度	富士宮北高等学校
浜松特別支援学校城北分校	平成23年度	浜松城北工業高等学校
沼津特別支援学校愛鷹分校	平成25年度	沼津城北工業高等学校
藤枝特別支援学校焼津分校	平成25年度	焼津水産高等学校

【社会教育課】

子ども読書の活動優秀実践校・図書館 団体決定!  
平成25年度の文部科学大臣表彰受賞校・団体等は次のとおりです。

子ども読書の活動優秀実践校・図書館 団体決定!  
平成25年度の文部科学大臣表彰受賞校・団体等は次のとおりです。

この間、静岡県では日常の様々な交流により「共生・共育」を推進してきました。

「地域で自立し 地域に貢献する人」  
藤枝特別支援学校焼津分校  
平成25年4月9日、駿河湾からの潮の香りが漂う焼津水産高等学校の校舎を活用した藤枝特別



分校生代表により入学生宣誓

分校の開校は、分校の生徒にとって、地域の中で学ぶことで、将来、職業人としての自立と地域への主体的参加につながるという効果をもたらすだけでなく、高等学校の生徒にとっても、互いに良いを見付け、認め合い、高め合う学びの場になるという効果をもたらすでしょう。これらの効果を期待しつつ、生徒たちが地域の皆様に愛され、たくましく成長し、新たな歴史を作り上げていくことに期待しています。

分校の開校は、分校の生徒にとって、地域の中で学ぶことで、将来、職業人としての自立と地域への主体的参加につながるという効果をもたらすだけでなく、高等学校の生徒にとっても、互いに良いを見付け、認め合い、高め合う学びの場になるという効果をもたらすでしょう。これらの効果を期待しつつ、生徒たちが地域の皆様に愛され、たくましく成長し、新たな歴史を作り上げていくことに期待しています。

【学校教育課 特別支援教育室】

【学校教育課 特別支援教育室】

【学校教育課 特別支援教育室】

【学校教育課 特別支援教育室】

【学校教育課 特別支援教育室】

県立高等学校の施設を活用した分校の設置は、平成16年度を皮切りに、平成25年4月に2校が開校し、10校になりました。

活用した分校の設置は、平成16年度を皮切りに、平成25年4月に2校が開校し、10校になりました。

活用した分校の設置は、平成16年度を皮切りに、平成25年4月に2校が開校し、10校になりました。

活用した分校の設置は、平成16年度を皮切りに、平成25年4月に2校が開校し、10校になりました。

# 共に学び 共に育つ

静岡県立沼津特別支援学校 教諭 長谷川裕己



校外学習時の生徒の支援(筆者左)

特別支援教育においては、複数の教員が協同して授業を行うチーム・ティーチング(以下T・T)での指導が主流であり、特徴となっています。

## 沼特版T・Tの構築

T・Tでの指導の利点としては、児童・生徒を多面的な視点から捉えられることや、個に応じた指導の充実などが挙げられます。

## 児童・生徒、保護者へのチームでの対応

また、保護者支援の体制を整えやすいという利点も挙げられます。

## 教員相互間のリスベクト

保護者の持つ悩みや相談事、将来への不安や願いは多種多様であり、それらを理解し、分析し、問題の解決策や希望のアドバイスを講じるには、教育、心理、病理、福祉など幅広い見識が求めら



日常的に行われる学年での学習会



お客さんへのおもてなしを学ぶ活動



笑顔溢れる、余暇の楽しみを探す活動

①関わり合う楽しさを教師が「示す」  
—チームティーチング—  
T・Tの活用—

②授業の記録を「書く」、「共有する」  
当番形式で生徒が書く「授業の記録」は、授業では出来ない生徒と教師

③「表現する」を日常化する  
生徒同士お互いに表現することへの安心感と信頼感を作るため、グループ活動等を用いた最低1回程度行っています。

④お互いを「評価し合う」  
授業の内外で互いに表現し合える環境が整った中で、レポート課題の相互評価を行いました。

様々なライフコースをたどってきた教員がチームを組んでいるため、それぞれの知識を集結することで、多角的な視点から答えを導き出すことができます。

互いの経験や専門性を認め合うことで、経験年数や立場を超えて、尊敬、尊重し合える人間関係が形成されました。

本校には、自分に自信があまり持てず、他人と関わることに苦手を意識を持つ生徒が少なからずいます。

また、他者を尊重する言葉遣いをチェックしあうことが出来るのもT・Tの利点の一つです。

生徒同士お互いに表現することへの安心感と信頼感を作るため、グループ活動等を用いた最低1回程度行っています。

相互評価においては、評価のポイントを教師が細かく設定し、作成者への「良かった点」を必ず書くことをルールとしました。

「教え合う」、「学び合う」授業を目指して今後の課題

更に、普段から保護者との協力体制を密に図っているため、適切な時期に的確な手段で伝えられることも期待できます。

全ての児童・生徒のために  
T・Tは、教員が自分や仲間の持つ個の力、集団の力を信じ、互いに助け合っこそ初めて機能すると言えるでしょう。

グループ活動の様子(筆者中央)

私は、人権意識を育む基盤は、授業の中で教師の発する言葉であると考えています。

「表現する」を日常化する  
生徒間でも共有されていき、授業にライブ感をもたらす効果があるようです。

「評価し合う」  
授業の内外で互いに表現し合える環境が整った中で、レポート課題の相互評価を行いました。

「教え合う」、「学び合う」授業を目指して今後の課題

# 「関わり合う楽しさ」のある授業を目指して

自尊重感情を育む  
静岡県立土肥高等学校 教諭 牧野 一高



T・Tによる世界史の授業

ル設定をすることで、全員参加の活発な活動へと導きます。



完成した冊子 120ページの大作

### 現代社会 (3B)

6月4日 4月期 担任: 牧野 一高

今日の授業の印象(5段階評価)

授業の進め方	70%	2. 良かった
先生の話し方		4. 良かった
自分の理解度		1. 良かった

今日の授業の感想(自由記述)

自分自身で調べたことが多かった。先生の話も面白かった。自分自身で調べたことが多かった。先生の話も面白かった。

「授業の記録」の例

# 高校における発達障害等のある生徒の支援

県教育委員会では、発達障害等のある生徒について、これまで各高校における支援の充実及び専門的な支援などに取り組みを進めてまいりました。今回は平成25年度の主な取組について2つ紹介します。

【コミュニケーションスキル講座】の開催  
平成25年度もほぼ同じ内容で、ソーシャルスキル

## 自然生活体験事業開催

心身ともにたくましい子どもたちを育成します

きらきらと輝く瞳、海に山に子どもたちの歓声が響く！自然の中で駆けまわる子どもたちは、まるで自然王国の王様！大自然の中で生活を通して仲間との絆を深め合い、自分の良さを見つけてます。楽しい活動満載。是非、子どもたちを自然王国に送り出してください。

**朝霧高原 サマーキャンプ**  
朝霧の豊かな自然の中で、仲間と過ごすテント泊・自炊の9日間。  
◇とき 8月4日(日)～12日(月)  
◇対象 小学5～6年生

◇対象 小学5～6年生  
★焼津青少年の家

キルトトレーニングのほか、農業実習や陶芸体験等に組み込む予定で、現在準備中です。

### 生徒向け支援教材の活用

学校生活の中での他者との関わり方や、将来の自立や社会参加に向けた適応力を身に付けるためのソーシャルスキルやライフスキルを学ぶことが、できる生徒向け支援教材「生きる力」を作成し、3月下旬に各高等学校へ配布し

に遊覧船乗船：今までにない最高の夏休みを！  
◇とき 8月6日(火)～11日(日)  
◇対象 小学5～6年生

**冒険王国in観音山**  
川遊びやロングハイキング、星空観察にキャンプファイヤーなど、楽しい活動がいっぱい！  
◇とき 8月7日(水)～12日(月)  
◇対象 小学5～6年生

**チャレンジスクール2013夏**  
何ととってもメインのカヌーは楽しさ以上に素敵な思い出をプレゼントします。  
◇とき 8月6日(火)～11日(日)  
◇対象 小学5～6年生

**浜名湖いきいき発見の里**  
生き物採集に方二釣り、キャンプファイヤー。そして浜名湖サイクリング



【学校教育課 高校再編整備室】



浜名湖でアサリ取り 観音山山頂にて 焼津でカヌー体験 朝霧の大自然の中で

### 〔支援者限定〕平成25年度自閉症支援講座の御案内

静岡県発達障害者支援センターあいらでは、自閉症スペクトラムの方への直接支援に役立つ講座を開催します。意欲にあふれ、今後も自閉症児者への直接支援に関わっていききたいと考えている方の御応募をお待ちしています。

内容	三島コース	静岡コース
	三島市民文化会館	静岡県男女共同参画センターあざれあ
第1回 自閉症の特性理解と支援の基本/ペアレントワーク	6月4日(火) (場所:あざれあ) ※公開講座	
第2回 評価(アセスメント)/構造化	7月12日(金)	7月13日(土)
第3回 余暇支援/コミュニケーション	9月6日(金)	9月7日(土)
第4回 就労支援/問題行動への対応	10月11日(金)	10月12日(土)

時間:午前10時から午後4時まで(受付9時30分から)

- ◇受講要件 直接、自閉症の方を支援し、4回全ての講座に出席できる方。
- ◇申込み ホームページ(電子申請)、郵送
- ◇受付期間 4月15日(月)～5月10日(金)
- ◇定員 三島コース、静岡コースとも各40人程度。選考の上決定。
- ◇受講料 無料
- ◇その他 第1回の公開講座のみを希望する場合は、別途申込みが必要。詳細はホームページ参照。

問・申 静岡県発達障害者支援センターあいら  
〒422-8031 静岡市駿河区有明町2-20 静岡県静岡総合庁舎別館3階  
☎054(286)9038 静岡県発達障害者支援センターあいら 研修 [検索](#)

### 学校で「こどもエコクラブ」に登録しませんか? ~クラスや委員会などでエコ活動しよう!活動発表しよう!~

こどもエコクラブは、自由に作れる環境活動クラブです。

こどもエコクラブは、幼児(3歳)から高校生までなら、友達や仲間と誰でも自由にクラブを作って参加できます。

未来を担う子どもたちが、環境を大切にすることを育み、環境に配慮した実践活動をしていけるよう、環境省、県、市町が活動を応援しています。

全国で2,300クラブ11万4,000人が、県内では、75クラブ3,200人の子どもたちが、自然観察、調査やリサイクル活動など地域の中で身近にできるエコ活動に取り組んでいます。

保育所や学校での環境学習に「こどもエコクラブ」を活用!

学年やクラス、環境委員会やクラブ活動などで登録し、環境学習に「こどもエコクラブ」を活用している学校もあります。登録すると、子どもたちがエコに関心を持続けられるように活動記録シートや環境に関する学習情報が届きます。

また、学校の授業で活用できる学習プログラム(指導者向け)も用意されています。

子どもたちの体験活動を発表する「場」も用意されています。

「みどりのカーテン」「こみの分別」などの環境活動を振り返って、子どもたちが感じたことや発見したことを、こどもエコクラブ全国事務局のホームページへ活動を報告したり、壁新聞や絵日記にまとめ、全国コンテストへ応募したりしている学校もあります。

昨年度は、富士市内の小学校4年生で組織するエコクラブが県代表に選ばれ、代表者が東京で開催された全国フェスティバルで他の都道府県代表の子どもたちと交流しました。

登録・年会費は無料!興味・関心のある方は、気軽にお問合せください。

詳細は、インターネットで「こどもエコクラブ」と検索すれば、全国や本県の様子がご覧いただけます。また、エコクラブへの登録は、全国事務局のホームページから直接登録することもできます。

問 環境ふれあい課 ☎054(221)2919

